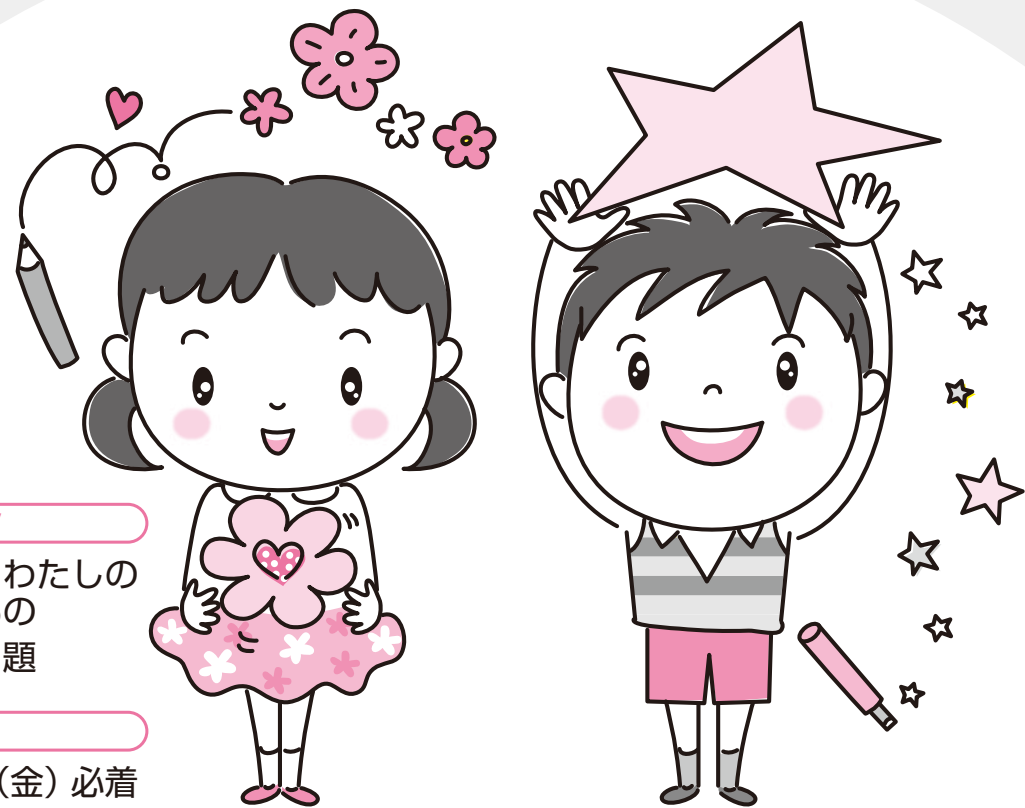


2014年度 第42回 全労済 小学生 作品コンクール

「作文」と「版画」作品募集のご案内



テーマ

作文 ● ぼくの・わたしの
たからもの
版画 ● 自由課題

締切日

2015年1月9日(金) 必着

主催 全労済

後援 ● 茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会・千葉県教育委員会・東京都教育委員会・
神奈川県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・静岡県教育委員会・(株)水戸放送局・宇都宮放送局・前橋
放送局・さいたま放送局・横浜放送局・長野放送局・甲府放送局・静岡放送局・茨城県・茨城新聞社・茨城放送・上毛新聞社・
埼玉新聞社・千葉テレビ放送・長野県・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn長野朝日放送・
山梨日日新聞社・山梨放送・静岡県・静岡新聞社・静岡放送・テレビ静岡

中央コンクール表彰式を開催しました。

第41回全労済小学生作品コンクールの表彰式は、2014年3月2日(日)、東京・全労済
ホール スペース・ゼロにて入賞者、ご指導いただいた先生方、ご家族など約150名の方に
お集まりいただき盛大に行われました。

晴れの舞台に緊張感たよう中にも笑顔があふれ、入賞作文の朗読は参加者に深い
感銘を与えたようです。

今回(第42回)も2015年3月1日(日)に東京で中央コンクールの表彰式を行う予定です。
子どもたちの限りない感性と夢と希望にあふれる作品をお待ちしております。



これまでの作品テーマ

●1973年 第1回	○ 火事	(作文のみ)	●1991年 第19回	○ たいせつなもの ～自然や環境をどのようにして守るか～	(作文)
●1974年 第2回	○ はたらく人	(作文・版画)	●1992年 第20回	○ 私と家族	(作文)
●1975年 第3回	○ たすけあい	(作文・版画)	●1993年 第21回	○ 交通の発達とわたしたちの暮らし	(作文)
●1976年 第4回	○ 仲間	(作文・版画)	●1994年 第22回	○ わたしたちの大切な友だち	(作文)
●1977年 第5回	○ いのちをたいせつにする	(作文・版画)	●1995年 第23回	○ わたしの好きなこと・大好きなもの	(作文)
●1978年 第6回	○ 遊ぶ	(作文・版画)	●1996年 第24回	○ ぼくの・わたしの通学路	(作文)
●1979年 第7回	○ 私の家族	(作文・版画)	●1997年 第25回	○ ぼくの夢・わたしの夢	(作文)
●1980年 第8回	○ ぼくの失敗、わたしの失敗	(作文)	●1998年 第26回	○ ぼくの家族・わたしの家族	(作文)
	○ 育てる	(版画)	●1999年 第27回	○ たのしいこと・うれしいこと	(作文)
●1981年 第9回	○ 夢中になってつくる	(作文)	●2000年 第28回	○ 失敗したこと・うまくいったこと	(作文)
	○ 力をあわせる	(版画)	●2001年 第29回	○ 不思議なこと・わからないこと	(作文)
●1982年 第10回	○ 心を強くうたれたこと	(作文)	●2002年 第30回	○ 好きなこと・やりたいこと	(作文)
	○ 働く	(版画)	●2003年 第31回	○ ぼくのゆめ・わたしのゆめ	(作文)
●1983年 第11回	○ 父母(祖父母)と戦争	(作文)	●2004年 第32回	○ ぼくの・わたしの宝もの	(作文)
	○ 元気に遊ぶ	(版画)	●2005年 第33回	○ ぼくの・わたしの大切なひと	(作文)
●1984年 第12回	○ 自然とともに	(作文)	●2006年 第34回	○ ぼくから・わたしからの「ありがとう」	(作文)
	○ 道具をつかう	(版画)	●2007年 第35回	○ 未来のぼく・わたしへ	(作文)
●1985年 第13回	○ 助けたこと、助けられたこと	(作文)	●2008年 第36回	○ ぼくが・わたしが「できること」	(作文)
	○ なかよしと	(版画)	●2009年 第37回	○ ぼくの・わたしの「将来のゆめ」	(作文)
●1986年 第14回	○ 私のまち・むらのくらし	(作文・版画)	●2010年 第38回	○ だいすきなもの	(作文)
●1987年 第15回	○ おまつり	(作文・版画)	●2011年 第39回	○ たのしかったおもいで	(作文)
●1988年 第16回	○ くるまとわたしたちの生活	(作文・版画)	●2012年 第40回	○ たすけあい	(作文)
●1989年 第17回	○ 動物とわたし	(作文)	●2013年 第41回	○ もしも1つだけ願いがかなうなら	(作文)
●1990年 第18回	○ ぼく(わたし)の夢 ～大人になったら～	(作文)			

※第17回以降、版画は自由課題

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協
として共済事業を営み、組合員の皆さまの
安心とゆとりある暮らしをめざしています。
出資金をお支払いいただいて組合員にな
れば、各種共済をご利用いただけます。



全労済は全国で
環境保全活動に
取り組んでいます。

子どもたちの元気で素直な作品を楽しみにしています。
たくさんのご応募をお待ちしています。

全労済日本事業本部事業本部長

石山 康夫



全労済は、営利を目的としない生活協同組合として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざして共済事業を営んでいます。また、共済事業に加え、豊かで安心できる社会を実現するために、社会貢献活動や教育文化活動にも取り組んでおります。さて、全労済東日本事業本部と各都県本部（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・長野・山梨・静岡）では、社会貢献活動の一環として、子ども達の豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催しております。このコンクールも今回で42回目（42年目）を迎えることができました。前回の第41回コンクールには、512校の小学校から1万6千点を超える作品応募をいただき、盛大なコンクールとすることができました。これも校長先生をはじめ先生方、関係機関の皆さまのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も、各都県教育委員会とNHK各地方局等のご後援をいただき、児童の皆さまの作品を募集させていただきますこととなりました。つきましては、児童の皆さまからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

作文の部 ぼくの・わたしのたからもの

まずは、深呼吸！



作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰

落合 恵子

「たからもの」という言葉とイメージを前にして、あなたは何を思い浮かべるでしょうか。「たからもの」です。それも、他の誰のものでもない、あなたのたからもの、なのです。

第42回全労済小学生作品コンクルのテーマは、「ぼくの・わたしのたからもの」。

いろいろ書けそうだし、でも、それだけにかえって難しそうな気がします。

まずは心を静かにして、深呼吸をしましょう。そうして、深く深く自分の心と向かいあってください。「た・か・ら・も・の」と小さな声でつぶやいてみるのもいいかもしれません。

うーんと迷っているのです。あなたの静かな心の底から、「これぞ、たからもの！」と思えるものが浮かびあがってくるのを、急がずに待ちましょう。

もちろん「たからもの」といっても、ひとそれぞれです。あなたは、あなたの「たからもの」について書くのですから、あなたがいま、真っ直ぐに向かい合う相手は、あなたの心そのものなのです。こんなこと書くのは恥ずかしいかな？ ウケないかな？ 受賞できるかな？ よけいなことは考えずに、まずは、あなたの心と向かい合う「ゆつたりの時」を大事にしてください。

あなたの「たからもの」は、誰かかもしれません。旅先で見た、夕陽の記憶かもしれないし、あなたがちよつとさびしいときに、ずっと歩み寄ってきて寄り添ってくれる犬や猫のコンパニオンニマルかもしれない。ようやく弾けることができるようになった一曲の場合もあるでしょうし、祖父母からの、一通の葉書の場合もあるでしょう。

触つてみることをできるものが「たからもの」である場合もあれば、指先で触れることができないもの、たとえば遠い夏の一面や、誰かとかいだ白い花の香りそのものが「たからもの」だと思うひともいるはずですよ。

想像力を大きく羽ばたかせてあげてください。あなたの心と向き合う「ゆつたりの時」が終わったら、そうして「これだ」が見つかったら、今度はちよつとスピードをあげて、「一気に書きあげてみましょう。細かいところを直したりするのは、そのあとでいいのです。」「この一行、とつちやおうかな」とか、「もう少し説明をいれようかな」とか迷うことも、後で充分にできます。

「一気に書いてください」というのは、そのほうがあなたの文章に「いきおい」や「リズム」がでるからです。

そしてそれは、あなたの作文に素敵な流れをくれます。

深呼吸して自分の心と向かい合ったけど、何も浮かんでこない？ 焦ることはありません。

心の窓をいっぱいに開いて、日々を過ごせば、あなたは必ずあなたの「たからもの」に出会えるはずです。

あなたからの作品を、どきどきしながら待つています！

あなたからの作品がたぶん、わたしも含め、多くの大人たちの「たからもの」になる、その日を目指して、さ、深呼吸です。

版画の部 自由課題

最初の質問



NPO法人市民の芸術活動推進委員長

鈴木 弘之

詩人の長田弘之さんをご存じの方も多いと思います。少々情動的すぎて「かなわないな」と感じる向きもあるようです。でも、子どもたちと毎日出会って、喜怒を共にしている先生方にはふさわしい詩のように私には思えます。そして、また、子どもたちへも質問してみたい気分をそそられます。僕のお気に入りの質問をチョイスしてみます。

今日あなたは空を見上げましたか。

雲はどんな形をしていましたか。

風はどんなにおいがしましたか。

「ありがと」という言葉を、今日、口にしましたか。

雨の滴をいっぱいためたクモの巣を見たことがありますか。

樫の木の下で、あるいは樫の木の下で、立ち止まったことがありますか。

街路樹の木の名前を知っていますか。

樹木を友人だと考えたことがありますか。

このまえ、川を見つめたのはいつでしたか。

砂の上に座つたのは、草の上に座つたのはいつでしたか。

好きな花を七つ、あげられますか。

夜明け前に鳴き交わす鳥の声を聴いたことがありますか。

ゆっくりと暮れていく西の空に祈ったことがありますか。

何歳の時の自分が好きですか。

今あなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聞こえますか。

沈黙はどんな音がしますか。

じつと目をつぶる。すると何が見えてきますか。

人生の材料は何だと思えますか。

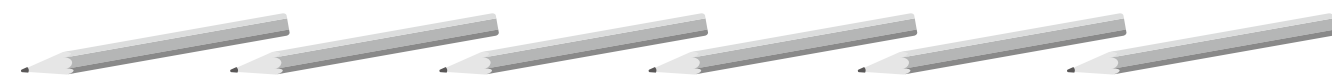
いかがですか？全部を掲載しないと長田さんにしかれそうですが、お許し下さい。最期のフレーズになかなか答えられないばかりがいます。

さてところで、版画コンクルのことですね。そのことを少し事訳しなければなりません。版画も自己表現の一つですから、表現のことと抱き合わせて思考してみると、長田さんの詩の内容と自己表現の有り様がまさにマッチしていると思うのです。「人生の材料」は版画でいうところの主題に当たる部分ですし、「雨の滴をいっぱいためたクモの巣」はまさに題名だと思えます。朝日を浴びて輝く宝石のような滴に注目してしまふ「感受性」をまず、問いたださなければならぬことだと思うのですが、如何でしょう。

版に表すテクニクも必要ですが、それは先生の指導力そのものが問われる世界ですから、ここでは言わずがなとしておきます。

でも、雨の滴に着目する感性は先生も子どもも共通のものです。長田さんは『深呼吸の必要』と言っています。それから、しばらく息をつめてみるのが大切だと思います。

素敵な版画がたくさん集まることを期待しながら、子どもたちにもメールを送ります。ドンマイ！



もしも一つだけねがいがかうなら、わたしは、大人が子どもにもどるまほうをつかえるようになりたいです。りゅうは、大人が子どもになったら、とてもすてきなことがおこるような気がするからです。

大人の人は、いつもいそがしそうで、おしろい花のたねがおちていても気がついていないみたいだし、空のくもが三本せんになって「三」という字ににている、くじらのかたちをしていても見えていないみたいだし、あたらしいでんしんばしらができていても立ちどまって見ません。それは、大人はいそがしくてまっすぐまえを見て、はやあるきをしているからだとわたしは気づきました。まい日、いろいろなところでわくわくするはっ見があります。だから、大人が子どもにもどるまほうをかけて、子どもになってゆっくりまわりを見ながらあるいたら、たくさんはっ見ができてたのしいとおもうのです。

一ばんさいしょにまほうをかけたいのは、おかあさんです。このまえ、

「おかあさんは、どんなあそびがすき?。」

ときいたとき、おかあさんはすこしかんがえ

て

「かくれんぼかな。」

とこたえました。そして、

「子どものときはとくいだったのよ。でも、からだが大きくなってしまったから、むかしみたいにじょうずにかくれることができなくなっちゃった。」

といっていました。だから、おかあさんにまほうをかけて子どもにしてあげたいです。小さなからだになったら、かくれるばしょいっぱい見つかるから、おかあさんはとてもたのしくかくれんぼができるとおもいます。そして、おとうさんにも先生にもまほうをかけて、おともだちもみんなでかくれんぼをしてあそびたいです。

テレビのニュースや学校のじゅぎょうで、せかいのいろいろなところでせんそうがおこっているとききました。かぞくをなくした子どもがいたり、おうちや学校がこわされてしまったり、びょういんにけがをした子どもがたくさんいたり、せんそうはこわいし、かなしい気もちになります。おとうさんおかあさん



東京都・光塩女子学院初等科(二年) 佐伯 理奈さん

最優秀賞

みんながハッピーになるまほう

2013年度

第41回入賞作品

作文の部

第42回 全労済 小学生 作品コンクール

おう ぼ よう こう

応募要項

応募締切日
2015年1月9日(金)必着

応募資格	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡の各都県にお住まいの小学生
部 門	「作文」、「版画」の2部門
テーマ	◎作文：「ぼくの・わたしのたからもの」 ◎版画：「自由課題」
賞	●中央コンクール 最優秀賞…各部門各学年1名(賞状、副賞) 優 秀 賞…各部門各学年2名(賞状、副賞) ●各都県コンクール 金 賞…各部門各学年1名(賞状、副賞) 銀 賞…各部門各学年2名(賞状、副賞) 銅 賞…各部門各学年5名(賞状、副賞) ※このほか、各都県独自賞があります。 ※応募作品数などの影響により、各賞に該当する作品がない場合もあります。
審 査	①各都県ごとに「都県コンクール」を行い審査します。 ②「都県コンクール」で選ばれた金賞作品を「中央コンクール」で審査します。
審査員	●中央コンクール 作文の部：落合 恵子先生 (作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰) 版画の部：鈴木 弘之先生 (NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長 武蔵野美術大学・東京学芸大学非常勤講師) 両 部 門：石山 康夫(全労済東日本事業本部事業本部長)

応募方法	次の要領で全労済各都県本部「小学生作品コンクール事務局」へ出品カードを添付してお送りください。 ◎作文：400字詰原稿用紙で5枚以内。 ◎版画：木版、紙版などを問わず、大きさはB4(257ミリ×364ミリ)以上でA2(420ミリ×594ミリ)以内。必ず台紙に貼ってください。 *作品はいずれも自作・未発表のもので、2014年4月以降に作成されたものに限りません。入賞作品の著作権は全労済に帰属します。なお、応募作品は返却いたしません。 *応募は、作文、版画それぞれ1人1点ずつまでとなります。
応募締切日	2015年1月9日(金)必着
発 表	●都県コンクール 1月下旬予定 ●中央コンクール 2月下旬予定 入賞者につきましては、学校および本人に通知いたします。
表彰式	中央コンクール入賞者を対象に、2015年3月1日(日)東京で行います。
応募上のご注意	●学校・学年・クラス単位でまとめて応募してください。 ●個人での応募も可能です。 ●出品カード・出品名簿が足りない場合はコピーしてお使いください。 ●出品カードに必要事項を記入し(フリガナをお忘れなく)、しっかりのりづけしてください。(作文は最終ページ裏の右上、版画は裏の右下) ●出品名簿には学年ごとの応募点数も記入してください。 ●入賞作品(小学校名・入賞者氏名)につきましては、全労済発行の刊行物およびホームページ等に掲載させていただきます。

作品の送付・お問い合わせは、下記の全労済「小学生作品コンクール事務局」まで

茨城県本部 〒310-0804 水戸市白梅1-1-10 ☎029-227-6684	東京都本部 〒160-0023 新宿区西新宿7-20-8 ☎03-3360-6055
栃木県本部 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-5-4 ☎028-635-6031	神奈川県本部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-9 ☎045-473-3856
群馬県本部 〒371-0854 前橋市大渡町2-3-3 ☎027-252-0467	長野県本部 〒380-8710 長野市立町978-2 ☎026-235-6139
埼玉県本部 〒338-8504 さいたま市中央区下落合1050-1 ☎048-822-0648	山梨県本部 〒400-0031 甲府市丸の内3-29-11 ☎055-237-6861
千葉県本部 〒260-0045 千葉市中央区弁天1-17-1 ☎043-287-8142	静岡県本部 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-0107

「どうしてせんそうするの？」
ときいたら、二人は、

「それは、とてもむずかしいしつもんだね。
きつとみんながすこしずつわがままになっ
ちゃって、すなおにごめんね、とか、いい
よっていえなくなっちゃったのかな。」

「そうね、じぶんとはちがうかんがえをもっ
ている人とおともだちになることが、でき
なくなっているのかもね。」

といいました。だから、わたしはせかい中の
大人にまほうをかけて子どもにもどしたいで
す。なぜなら、子どもはなかよしの名人だか
らです。学校にはやさしい子、げん気な子、
まじめな子、ちよっとおこりんぼな子、たま
にすごーくこわくなる子、いろいろなおとも
だちがいます。たまには、けんかをするこ
もあるけど、あやまつたり、ゆるしたりして、
わたしたちは、いつもなかよくしています。
あたらしいおともだちとなかよくなることも

とくいです。すぐにいつしよにあそべます。

大人の人たちがなかなかおりするほうほうや、
おともだちになるほうほうをわすれちゃった
のだったら、わたしのまほうで子どもにもど
つてたらおもいだせるとおもいます。おもい
でしたら、みんながおともだちになるから、
せんそうもなくなるとおもいます。

大人の人たちがみんな子どもになつてしま
たら、でん車のうんでんしさんも、おいしや
さまも、おみせやさんも、学校の先生もい
なくなつてしまい、それは、とてもこまるこ
なので、わたしのまほうのききめは一日だけ
でいいです。たった一日だけでも子どもにな
つて、また大人にもどつたら、たのしい気も
ちや、わくわくの気分が大人のおしごとの
中に入つて、それがせかい中にひろがるから、
みらいはもつともつとすてきになつて、みん
ながハッピーになるとおもいます。

2013
年度

第41回入賞作品

作文の部 最優秀賞

えがおでカチューシャるるるるるるん！

千葉県・国府台女子学院小学部（二年） 遠藤 さやねさん

わたしと妹のやくそく

茨城県・水戸市立緑岡小学校（三年） 長谷川 莉那さん

もう一度。パパに会いたい

栃木県・真岡市立久下田小学校（四年） 小薬 歩さん

「もしも一つだけ願いがかなうなら」

群馬県・桐生市立桜木小学校（五年） 川島 優佳さん

ちっぽけな願いはもうしない〜平和への「第一歩」〜

静岡県・磐田市立長野小学校（六年） 伊藤 壮舞さん

2013
年度

第41回入賞作品

版画の部

最優秀賞



大すき小みなとてつどう
千葉県・市原市立国分寺台東小学校（1年）
寺崎 日菜さん



うちゅうにカブトが!?
静岡県・静岡市立玉川小学校（二年）
三澤 一瑠さん



きれいな音色
茨城県・坂東市立逆井山小学校（三年）
照永 佳蘭さん

第41回全労済小学生作品コンクール 応募小学校・教室一覧（順不同）

茨城

笠間市立笠間小学校 笠間市立岩間第三小学校 笠間市立岩間第二小学校 かすみがうら市立上佐谷小学校 つくば市立春日小学校 つくば市立吉沼小学校 つくば市立九重小学校 つくば市立荃崎第三小学校 つくば市立吾妻小学校 つくば市立手代木南小学校 つくば市立菅間小学校 つくば市立谷田部南小学校 つくば市立斐小学校 ひたちなか市立中根小学校 水戸市立吉田小学校 水戸市立五軒小学校 水戸市立鯉淵小学校 水戸市立国田小学校 水戸市立城東小学校 水戸市立浜田小学校 水戸市立堀原小学校 水戸市立緑岡小学校 稲敷市立あすま西小学校 茨城県立水戸聾学校 茨城県立友部特別支援学校 茨城町立駒場小学校 茨城町立広浦小学校 茨城町立川根小学校 下妻市立高道祖小学校 牛久市立牛久小学校 境町立境小学校 結城市立結城西小学校 行方市立羽生小学校 行方市立玉造小学校 坂東市立逆井山小学校 坂東市立七郷小学校 桜川市立雨引小学校 桜川市立猿田小学校 鹿嶋市立大同西小学校 取手市立高井小学校 取手市立寺原小学校 小美玉市立玉里東小学校 小美玉市立堅倉小学校 城里町立桂小学校 城里町立常北小学校 城里町立七会小学校 城里町立石塚小学校 常総市立菅原小学校 常総市立豊田小学校 常陸太田市立金砂郷小学校 常陸太田市立世矢小学校 常陸太田市立太田小学校 常陸大宮市立山方小学校 石岡市立葦穂小学校 石岡市立園部小学校 石岡市立瓦会小学校 石岡市立関川小学校 石岡市立吉生小学校 石岡市立杉並小学校 石岡市立東小学校 石岡市立東成井小学校 石岡市立府中小学校 大洗町立夏海小学校 筑西市立伊讃小学校 筑西市立下館小学校 筑西市立古里小学校 筑西市立小栗小学校 筑西市立上野小学校 筑西市立中小学校 筑西市立鳥羽小学校 潮来市立延方小学校 土浦市立土浦小学校 土浦市立東小学校 東海村立中丸小学校 日立市立会瀬小学校 日立市立金沢小学校 日立市立中小学校 美浦村立大谷小学校 鉾田市立旭東小学校 鉾田市立新宮小学校 鉾田市立徳宿小学校 鉾田市立巴第一小学校 北茨城市立中郷第一小学校

栃木

宇都宮市立東小学校 宇都宮市立昭和小学校 宇都宮市立上戸祭小学校 宇都宮市立城山東小学校 宇都宮市立国本中央小学校 宇都宮市立雀宮東小学校 宇都宮市立雀宮南小学校 宇都宮市立平石北小学校 宇都宮市立瑞穂台小学校 宇都宮市立横川東小学校 宇都宮市立今泉小学校 宇都宮市立御幸が原小学校 宇都宮市立上河内中央小学校 宇都宮市立岡本小学校 宇都宮市立原小学校 宇都宮市立原西小学校 栃木県立聾学校 日光市立今市第三小学校 日光市立所野小学校 日光市立野口小学校 日光市立足尾小学校 市貝町立小貝小学校 茂木町立逆川小学校 益子町立益子西小学校 益子町立益子小学校 真岡市立物部小学校 真岡市立久下田小学校 真岡市立山前小学校 真岡市立東沼小学校 真岡市立長田小学校 鹿沼市立さつきが丘小学校 鹿沼市立みなみ小学校 鹿沼市立小野小学校 小山市立小山城東小学校 小山市立旭小学校 小山市立乙女小学校 那須塩原市立埼玉小学校 那須塩原市立青木小学校 那須塩原市立波立小学校 那須塩原市立大山小学校 那須塩原市立東小学校 那須塩原市立三島小学校 足利市立南小学校 佐野市立城北小学校 栃木市立国府南小学校 栃木市立千塚小学校 下野市立緑小学校 上三川町立明治小学校 上三川町立上三川小学校 上三川町立坂上小学校 上三川町立北小学校 高根沢町立西小学校 那須町立芦野小学校 壬生町立安塚小学校 壬生町立睦小学校 壬生町立壬生小学校 岩舟町立岩舟小学校 岩舟町立小野寺北小学校 井上絵画教室

群馬

前橋市立原小学校 前橋市立月田小学校 高崎市立大類小学校 高崎市立塚沢小学校 高崎市立中川小学校 高崎市立北部小学校 高崎市立中央小学校 高崎市立片岡小学校 高崎市立新町第二小学校 高崎市立新町第一小学校 高崎市立車郷小学校 高崎市立金古南小学校 高崎市立堤ヶ岡小学校 桐生市立南小学校 桐生市立桜木小学校 桐生市立梅田南小学校 伊勢崎市立豊受小学校 太田市立太田東小学校 太田市立宝泉東小学校 太田市立南小学校 沼田市立多那小学校 藤岡市立小野小学校 藤岡市立藤岡第二小学校 富岡市立小野小学校 富岡市立富岡小学校 富岡市立一ノ宮小学校 富岡市立吉田小学校 富岡市立妙義小学校 安中市立秋間小学校 安中市立後閑小学校 吉岡町立明治小学校 甘楽町立新屋小学校 下仁町立下仁田小学校 中之条町立沢田小学校 玉村町立中央小学校 板倉町立東小学校

埼玉

春日部市立川辺小学校 春日部市立宝珠花小学校 神川町立神泉小学校 さいたま市立見沼小学校 さいたま市立仲本小学校 ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校 羽生市立新郷第二小学校 越谷市立宮本小学校 戸田市立戸田東小学校 行田市立太田東小学校 川越市立高階北小学校 川越市立川越小学校 川越市立中央小学校 川口市立在家小学校 川口市立青木中央小学校 川口市立仲町小学校 秩父市立西小学校 鶴ヶ島市立杉下小学校 東松山市立青島小学校 本庄市立北泉小学校 本庄市立本庄西小学校 春日部市立南桜井小学校 川口市立中居小学校 さいたま市立指扇北小学校 さいたま市立上小小学校 さいたま市立善前小学校 さいたま市立泰平小学校 さいたま市立大砂土小学校 さいたま市立東岩槻小学校 所沢市立中央小学校 桶川市立桶川西小学校 熊谷市立熊谷南小学校 戸田市立戸田第一小学校 戸田市立新曽小学校 三郷市立新和小学校 三郷市立鷹野小学校 春日部市立備後小学校 上尾市立瓦葺小学校 川越市立高階南小学校 川越市立寺尾小学校 川越市立泉小学校 川口市立戸塚東小学校 本庄市立本庄東小学校 嵐山町立菅谷小学校 埼玉県立特別支援学校塙保己一学園(小学部)

千葉

いすみ市立大原小学校 市原市立ちはら台校小学校 柏市立高柳小学校 柏市立大津ヶ丘第一小学校 香取市立栗源小学校 山武市立豊岡小学校 千葉日本大学第一小学校 印西市立本笠第一小学校 栄町立北辺田小学校 我孫子市立我孫子第一小学校 我孫子市立我孫子第三小学校 我孫子市立高野山小学校 君津市立三島小学校 君津市立八重原小学校 国府台女子学院小学部 佐倉市立志津小学校 四街道市立山梨小学校 市原市立五井小学校 市原市立国府小学校 市原市立国分寺台西小学校 市原市立国分寺台東小学校 市原市立市原小学校 市原市立西小学校 市原市立市東第二小学校 市原市立清水谷小学校 市原市立石塚小学校 市原市立白幡小学校 市原市立牧園小学校 市原市立有秋西小学校 市川市立宮久保小学校 市川市立新井小学校 市川市立大野小学校 勝浦市立興津小学校 勝浦市立勝浦小学校 松戸市立高木小学校

松戸市立根木内小学校 松戸市立中部小学校 成田市立成田小学校 千葉県立桜が丘特別支援学校 千葉市立あやめ台小学校 千葉市立小倉小学校 千葉市立都賀小学校 袖ヶ浦市立長浦小学校 筑波大学附属聴覚特別支援学校 東金市立城西小学校 日出学園小学校 柏市立旭東小学校 柏市立光ヶ丘小学校 柏市立高田小学校 柏市立富勢東小学校 野田市立清水台小学校 野田市立中央小学校 野田市立二ツ塚小学校

東京

足立区立栗原北小学校 足立区立高野小学校 足立区立中川小学校 足立区立中島根小学校 足立区立東洲江小学校 足立区立平野小学校 荒川区立汐入東小学校 江戸川区立第四葛西小学校 江戸川区立東小岩小学校 江戸川区立本一色小学校 江戸川区立瑞江小学校 江戸川区立南篠崎小学校 大田区立山王小学校 大田区立多摩川小学校 大田区立東調布第三小学校 葛飾区立中之台小学校 葛飾区立宝木塚小学校 曉星小学校 国立市立国立第四小学校 国立市立国立第六小学校 光塩女子学院初等科 江東区立第一大島小学校 江東区立第三砂町小学校 国本小学校 小平市立小平第六小学校 品川区立小中一貫校日野学園 品川区立小山台小学校 品川区立第三日野小学校 渋谷区立神南小学校 渋谷区立千駄谷小学校 白百合学園小学校 新宿区立市谷小学校 新宿区立戸山小学校 新宿区立東戸山小学校 杉並区立井荻小学校 杉並区立杉並第二小学校 杉並区立高井戸小学校 杉並区立西田小学校 墨田区立緑小学校 西武学園文理小学校 世田谷区立池之上小学校 世田谷区立山鳥山小学校 世田谷区立東玉川小学校 世田谷区立山崎小学校 雙葉小学校 台東区立蔵前小学校 台東区立大正小学校 台東区立松葉小学校 台東区立谷中小学校 中央区立明石小学校 調布市立若葉小学校 筑波大学附属視覚特別支援学校 東京学芸大学附属小金井小学校 東京創価小学校 東京都立大塚ろう学校永福分教室小学部 東京都立大塚ろう学校江東分教室小学部 東京都立葛飾ろう学校 東京都立小平特別支援学校 東京都立墨田特別支援学校 桐朋学園小学校 豊島区立長崎小学校 中野区立江原小学校 中野区立多田小学校 中野区立中野神明小学校 練馬区立下石神井小学校 練馬区立石神井西小学校 八王子市立秋葉台小学校 八王子市立散田小学校 東久留米市立第一小学校 東久留米市立南町小学校 日野市立日野第六小学校 檜原村立檜原小学校 府中市立府中第七小学校 町田市立町田第四小学校 町田市立南大谷小学校 三鷹市立大沢台小学校 港区立青南小学校 港区立白金小学校 明星小学校 目黒区立鳥森小学校 目黒黒美学園小学校 立教女学院小学校 早稲田大学附属早稲田実業学校初等部 絵画造形サークル

神奈川

川崎市立川崎小学校 川崎市立田島養護学校 川崎市立向小学校 川崎市立下沼部小学校 川崎市立玉川小学校 川崎市立大谷戸小学校 川崎市立古川小学校 川崎市立東小倉小学校 川崎市立久本小学校 川崎市立梶ヶ谷小学校 川崎市立久末小学校 川崎市立南菅小学校 川崎市立下布田小学校 川崎市立中野島小学校 川崎市立王禅寺中央小学校 川崎市立岡上小学校 川崎市立はるひ野小学校 川崎市立大蔵小学校 横浜市立南山田小学校 横浜市立旭小学校 横浜市立日野南小学校 大和市立中央林間小学校 大和市立桜丘小学校 大和市立大野原小学校 相模原市立当麻田小学校 藤沢市立石川小学校 秦野市立大根小学校 秦野市立鶴巻小学校 秦野市立本町小学校 開成町立開成小学校 平塚市立金目小学校 秦野市立北小学校 秦野市立西小学校 秦野市立渋沢小学校

長野

長野市立棉花小学校 長野市立安茂里小学校 長野市立長沼小学校 長野市立朝陽小学校 長野市立東条小学校 長野市立豊栄小学校 長野市立昭和小学校 長野市立信田小学校 長野市立信里小学校 山ノ内町立東小学校 栄村立栄小学校 須坂市立森上小学校 中野市立中野小学校 佐久市立田口小学校 上田市立神科小学校 上田市立城下小学校 上田市立東塩田小学校 千曲市立野南小学校 長野県松本盲学校 松本市立清水小学校 松本市立島内小学校 信州大学教育学部附属松本小学校 茅野市立金沢小学校 茅野市立湖東小学校 茅野市立泉野小学校 岡谷市立小井川小学校 岡谷市立湊小学校 飯田市立川路小学校 阿智村立阿智第一小学校 伊那市立伊那北小学校 伊那市立伊那東小学校 飯島町立七久保小学校 箕輪町立箕輪北小学校 箕輪町立箕輪西小学校 大町市立大町西小学校 下諏訪町立下諏訪南小学校 富士見町立境小学校 塩尻市立広丘小学校 売木村立売木小学校 泰阜村立泰阜小学校 駒ヶ根市立赤穂小学校 大町市立八坂小学校

山梨

山梨大学教育人間科学部附属小学校 甲府市立新紺屋小学校 山梨県立甲府支援学校 山梨学院大学附属小学校 富士河口湖町立大石小学校 山梨市立三富小学校 北杜市立長坂小学校 北杜市立小淵沢小学校 上野原市立島田小学校 上野原市立西原小学校 市川三郷町立大塚小学校 佐野絵画教室

静岡

菊川市立内田小学校 菊川市立河城小学校 磐田市立長野小学校 掛川市立大坂小学校 袋井市立袋井南小学校 掛川市立原田小学校 掛川市立西山口小学校 浜松市立飯田小学校 浜松市立葵が丘小学校 浜松市立三方原小学校 浜松市立可美小学校 浜松市立鴨江小学校 浜松市立神久呂小学校 浜松市立豊西小学校 浜松市立舞阪小学校 浜松市立元城小学校 浜松市立相生小学校 浜松市立芳川北小学校 浜松市立蒲小学校 川根本町立本川根小学校 川根本町立中央小学校 島田市立六合小学校 島田市立島田第五小学校 焼津市立小川小学校 焼津市立焼津南小学校 静岡市立清水小学校 静岡市立清水有度第一小学校 静岡市立清水辻小学校 静岡市立清水興津小学校 静岡市立南部小学校 静岡市立中田小学校 静岡市立東源台小学校 静岡市立玉川小学校 静岡市立服織小学校 牧之原市立相良小学校 牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校 牧之原市立細江小学校 牧之原市立坂部小学校 牧之原市立勝間田小学校 吉田町立自彊小学校 常葉学園大学教育学部附属橘小学校 静岡市立番町小学校 静岡市立駒形小学校 富士宮市立黒田小学校 富士市立田子浦小学校 伊東市立旭小学校 伊東市立川奈小学校 伊東市立西小学校 伊東市立八幡野小学校 伊東市立富戸小学校 沼津市立静浦小学校

※名称は応募時のものです。統廃合などにより名称が変更されている場合があります。



大きな木と太陽

栃木県・益子町立益子西小学校(六年)

大塚 莉奈さん



ぼくの家のだ

山梨県・甲府市立新田小学校(五年)

〈佐野絵画教室〉佐藤 俊輔さん

2013
年度

第41回入賞作品

版画の部

最優秀賞

2014年度 第42回全労済小学生作品コンクール

出品名簿

とりまとめ用（作文
版画）

◀いずれかに○をつけてください。

都県名

小学校名または団体名称（小学校は〇〇県立・私立等からご記入ください。）

フリガナ

小学校または団体の住所

電話番号（ ） —

指導された先生のお名前

学年	組	性別	氏 名(フリガナも必ずご記入ください)			題 名			備 考	
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女								

※ご記載いただいた個人情報は、「個人情報保護法」にもとづき、その取り扱いについて充分留意するとともに、当作品コンクール以外での使用目的では、一切利用いたしません。

第42回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

〒

—

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

—<キリトリ線>—

第42回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

〒

—

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

第42回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

〒

—

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

—<キリトリ線>—

第42回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

〒

—

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—